

●私立大学図書館協会阪神地区協議会研究会
■テーマ：今、あらためて大学図書館職員の働き甲斐を問う
【講演】
**大学図書館職員の栄光と苦悩
ー内面を支える秘かな愉しみー**
講師 仁上幸治
(にかみ・こうじ／図書館サービス計画研究所 代表)
■2015年9月4日(金) 13:10-14:40(90分 質疑応答込)
■梅花女子大学 山草館(F棟)601教室(大阪府茨木市)

【1】はじめに



クサガメ
■名前はワカメ
■爬虫類＝下等動物？
■寝てばかり？
■鈍足？

固定観念



授業中に学生に質問
このカメ動画「窓枠落下」編を見て、図書館員の現状と課題についての教訓を述べてみよう。

あなたの回答は？

学生の回答
「図書館員は厳しい状況に置かれているので、内にこもっていてもダメで、外の世界へ積極的に出ていく姿勢が必要だ。」
パチパチパチ！！

お願い

- 一回性のライブ
- スライド内容は後日ファイル配付
- ノート不要
- 感想・質問用のメモOK
- プロジェクター、照明、マイクボリューム、エアコンなど受講環境についての要望は随時

今日のキーワード

外

動画

ツカミに効く
授業に使える
自己紹介にも



13

仕事に使える動画術

- 成功例に学ぶYouTube活用とオリジナル動画作成法
- 家子史穂 著 千崎達也 著
- 発売日:2015年07月13日
- ISBN:9784798141640
- 定価:本体1,800円+税
- 仕様:B5・160ページ
- 分類:PC書その他
- <https://www.shoensha.co.jp/book/detail/9784798141640>

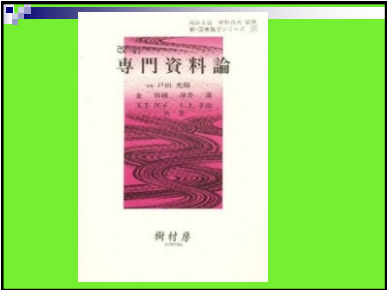
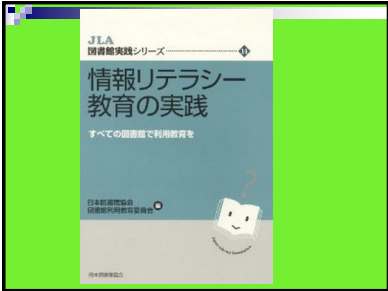
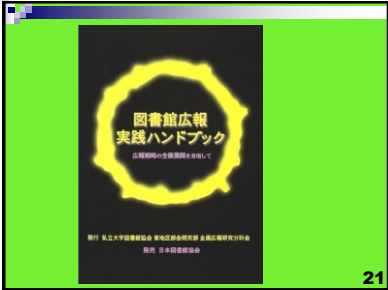
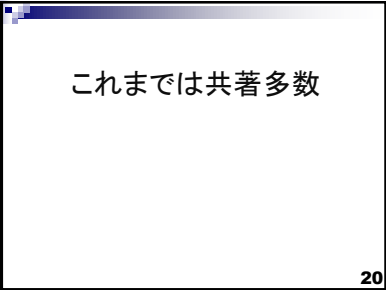
あらゆるビジネスで使える！
伝わる動画の使い方&作り方！

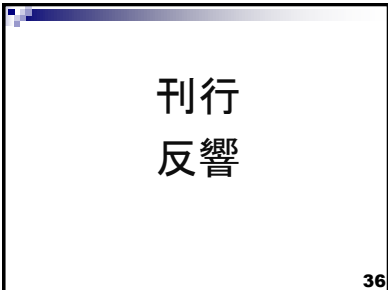
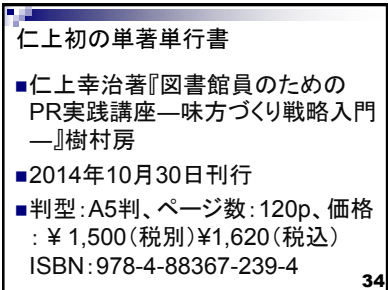
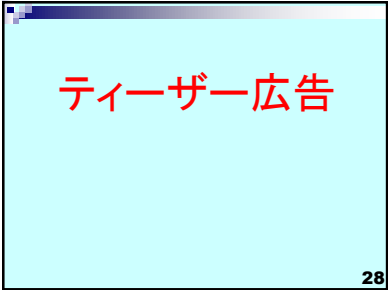
自己紹介

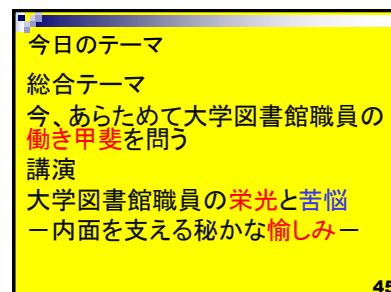
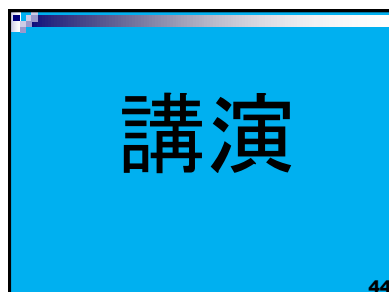
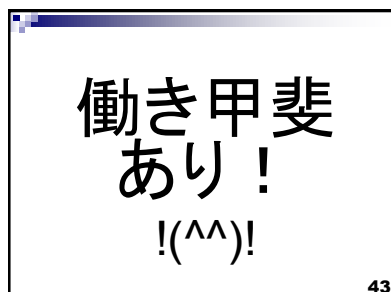
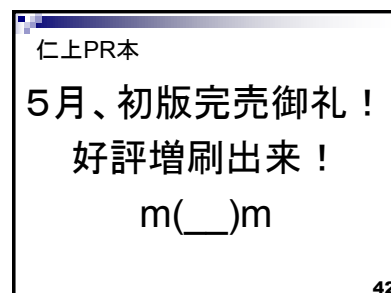
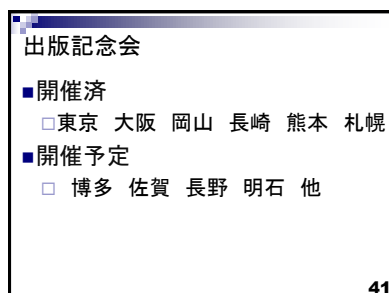
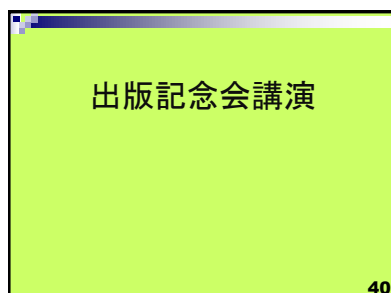
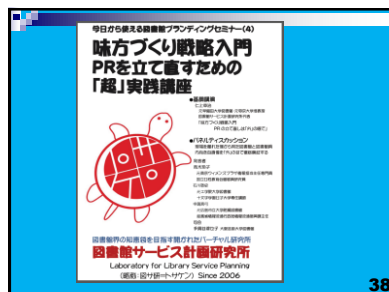
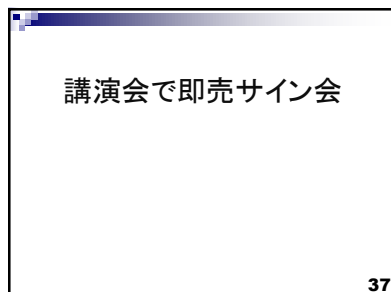
自己紹介

- 仁上幸治 (にかみ・こうじ)
- 図書館サービス計画研究所(トサケン)代表
- 元・帝京大学 准教授
- 元・早稲田大学図書館司書
- 非常勤講師
 - 法政大学、亜細亜大学、東京家政大学、桜美林大学
 - (2015～)和光大学、玉川大学通教部
- クサガメを室内放し飼い

- 名刺を持ち歩いていないかた？
- 自分をどうやって覚えてもらうのか？
- メールをもらうには？







目次

- 【1】はじめに
- 【2】利用者減少という問題
- 【3】問題の設定
- 【4】発想の転換
- 【5】有望な4つの取り組み領域
- 【6】本丸に迫る—リザーブ図書制度の本格運用に向けて—
- 【7】職業生活の分岐点—働き甲斐を求めて—
- 【8】おわりに—研修を変えるには—

46

事前課題アンケート

47

- 今回、諸般の事情により実施見送り
- 先月の某講演での事前課題アンケートから
- ほぼ同様？(違う?!)

48

【4】改善の課題

- 6-2. 現在の仕事について、自慢できる点、、困っていること、ぶつかっている壁、今後の取り組み計画など。

49

お悩み

- ・研究室や個人単位まで届く広報をするにはどうしたらよいのか
- ・日々の作業のモチベーションもなかなか上がらない
- ・新しい手段ばかり模索するのはリスクがあるでしょうか。

50

人員問題

- ・人手不足・人材不足
- ・司書資格を有する専任職員がおらず
- ・人員の異動サイクルが早く、教えても教えても、まるで砂のように手からこぼれ落ちていく

51

教員の問題

- ・図書を使わない先生が増えている

52

広報

- PR
- パブリックリレーションズ
- マーケティング

53

アイデンティティ

- UI:ユニバーシティアイデンティティ
- LI:ライブラリーアイデンティティ

54

ブランディング

- 10年も同じコト言ってる
- ご指摘ごもっとも
- 正しくは30年ですけど何か。(^^;

55

ブランディングのコンセプト
1980年代後半
発見済

図書館のマイナスイメージ

- 「暗い」 K
- 「堅苦しい」 K
- 「カッターイ」 K

3K

57

プラスイメージ

明るい
気軽
便利

58

新しいイメージ

AKB

59

コンセプト事例

チャレンジ&エレガンス

60

チャレンジ&エレガンス
BAIKA
1878
梅花女子大学
—2015年—
創立137年

受験生の方へ

大学紹介	学部・大学院	キャンパスライ
------	--------	---------

61

【2】利用者減少という問題

お悩み

63

なぜ低い？

- 認知度
- 利用率
- 親組織内の重要度
- スタッフの労働条件

64

どうすればいいのか？

65

自信がない

- パソコンスキル
- 専門知識技能
- アイデア
- 提案力
- 交渉力
- 政治力
- 気力
- 体力

66

なぜ？

67

習ったことがない
苦手だから
ひとり職場だから
どうせ無理

68

ほんとにそう？

69

【3】問題の設定

- ・利用者減少はなぜいけないのか？
- ・図書館予算の減少はなぜいけないのか？
- ・図書館組織の統廃合はなぜいけないのか？
- ・図書館員の減員・外部委託はなぜいけないのか？

- ・情報サービス職は図書館組織内にな
いとけないのか？
- ・図書館員という職種の存続を目的に
してよいのか？
- ・あなたは大学内で何をしたいのか、し
たかったのか？

来館-非来館という 問題の枠組み

1)なぜ来館者数を増やさなければ
ならないのか？

- 投下資源と産出サービスの運用効率
- 人員削減防止→学内人材の再配分

2)非来館型サービスの推進は何の
ため？

- 電子ジャーナルの契約数の増加
- オープンアクセス化の推進
- ホームページ上のサービスの拡充
- 電子書籍の導入
- 全学生に電子書籍端末配布

3)理系研究者の理想は全電子化
+無蔵書!?

- ILL/DD申込・キャンセル分析(2000年頃発見)
- 電子ジャーナルの契約範囲の中途半端さ
- リンクリゾルバの精度不足が所蔵あり見落としの原因

- 電子資料とプリント資料所蔵検索は面倒！
- 利用者教育の受講はコスト！
- プリント資料の所蔵ありは来館＝自カコピーのコスト要因！
- 論文のオンライン複写デリバリーこそが理想
- 図書館の施設・組織・要員は不要

いまさら感
(-”-)

コトバ

- 情報の利活用
- 学修支援
- アクティブラーニング
- ラーニングコモンズ

79

【4】発想の転換

1) 固定観念を捨てる

- 発想の転換
- 外の世界に目を開く
 - 異業種の人材から発想や仕事術を学ぶ
- 弱点を逆手に取る
 - 自虐ネタ
 - スペリ芸

81

ICU図書館

- 事例
- 誰も借りてくれない本100冊 ICU図書館で紹介：朝日新聞デジタル

□ www.asahi.com/articles/ASG6K5T12G6KUTIL030.html

82

ヒント

- 弱点を自虐ネタに
- スベリ芸も芸のうち

83

(中略)

84

教訓

- とにかくできることからすぐ始める

85

発想の転換のまとめ

- 1)固定観念を捨てる
- 2)ダメモト
- 3)何でもあり
- 4)街へ出る
- 5)「できない」と言わない
- 6)「あるもの」活用

86

しかし
自分の職場の状況
・・・
・・・やっぱり
無理かも。。。

87

難関をどう突破すれば
よいか？

88

ブランディング

89

ブランディング

- 利用者が集まる図書館

- 個別誘引PULL型の仕掛け
- 全員一網打尽PUSH型

個別誘引PULL型の仕掛け

- 魅力的なコンテンツやイベントを多種多様に用意
- 無関心層を惹きつける戦略
- 経営資源の逼迫状況でも徹底実施
- しかし「客寄せ・客引き」方策の限界

PULL型の限界

- 顕在利用者層の20%を90%以上に引き上げられる？
- せいぜい30%に引き上げる程度

PUSH型の威力

- 学生たちが嫌でも図書館利用をせざるをえない状況を作る
- 戦略が必要不可欠

キーワード

- 全員一網打尽
- 上流を攻める

【5】有望な4つの取り組み領域

●別紙資料

- 配付資料2：高校の情報リテラシー教育を変える
- 配付資料3：シラバス原稿依頼状例
- 配付資料4：帳票例1-ILL申込書
- 配付資料5：帳票例2-DB講習会申込書
- 配付資料6：国際教育センターニューズレター

1) 高校教育以前に遡って攻める

- 付属高校
- 地域の高校
- 小中学校

ブランディングのコンセプト

新しいイメージ

AKB

**配付資料2：高校の情報リテラシー教育
を変える**

- 参考1) 2013年度春学期「学校経営と学校図書館」(仁上幸治)
- 授業の計画一覧表
- 参考2) 事例：早稲田大学高等学院図書室
- 仁上幸治「わが校の図書館あんない：早稲田大学高等学院」『学校図書館』no.489,1991.7, pp.70-71.巻頭口絵写真2p.
- 参考3) 早稲田大学高等学院図書室利用案内1989

100

- 参考4) 早稲田大学高等学院図書室(付属高校)の図書館報 1991年版
- 参考5) 早稲田大学高等学院図書室投書箱実例
- 参考6) 葉の裏面見本：早稲田大学高等学院図書室「返却期限日葉」1989-91?
- 参考7) 札幌南高校の事例：卒業生とのコラボ

101

1. 早稲田大学付属高校の事例

参考2) 事例：早稲田大学高等学院
図書室

●仁上幸治「わが校の図書館あんない：早稲田大学高等学院」『学校図書館』no.489,1991.7, pp.70-71.巻頭口絵写真2p.

事例1

- 大学図書館から付属高校への出向司書・仁上幸治の実践
- 1985-1991年

104

1990年

105

■早稲田大学高等学院図書室オリエンテーションビデオ1990

106

●仁上幸治「わが校の図書館あんない：早稲田大学高等学院」『学校図書館』no.489,1991.7, pp.70-71.巻頭口絵写真2p.



107

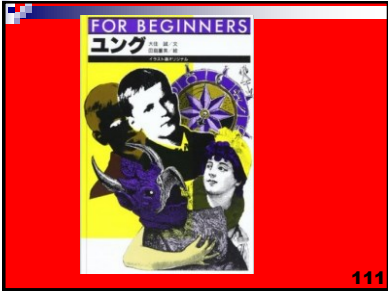
キーワードは
イメージ革新

108



- 森 伸之『東京女子高制服図鑑』62年度版, 弓立社, 1985.7.
- 制服ブームから制服モデルチェンジの大きな流れまで生んだ話題の本の大改訂62年度版。全国から寄せられたデータをベースに3分の1以上を再チェック。正確なデータとイラストによる楽しい図鑑。都内151校完全収録。

110



- 詳細略
- 「選書基準をめぐる冒険」Ⅰ、Ⅱ
- これだけで講演1回分！

実例

- オリエンテーション
- 利用案内
- 館報
- リクエスト
- 投書箱
- しおり

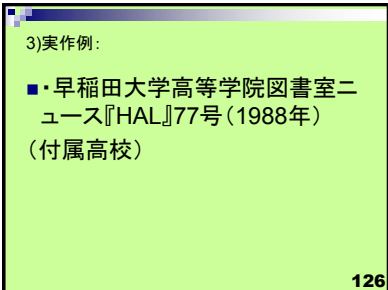
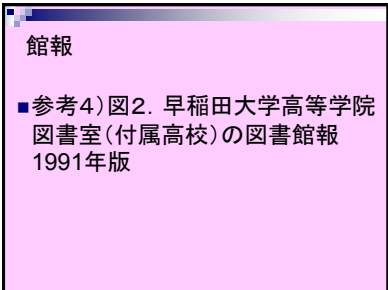
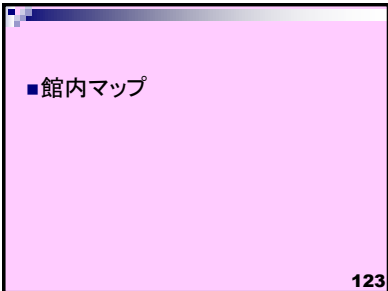
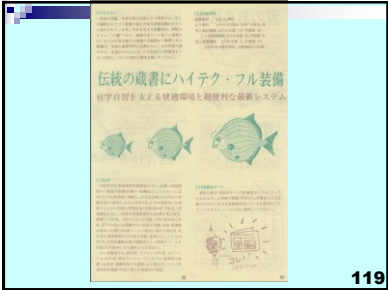
オリエンテーション

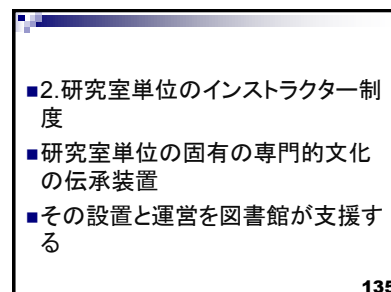
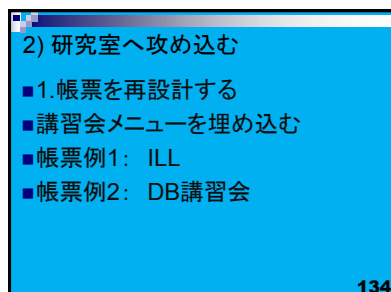
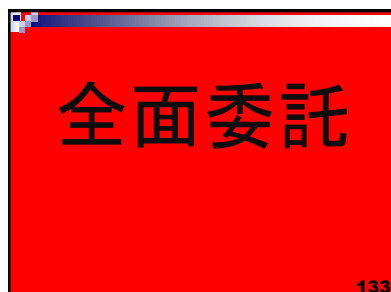
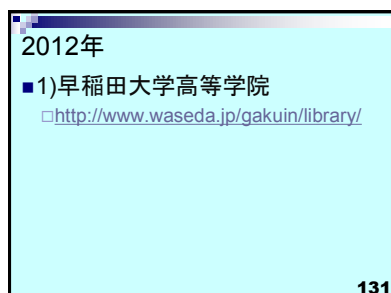
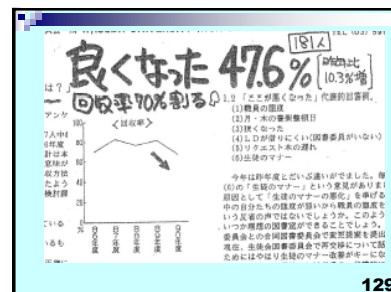
(中略)

116

利用案内

- 参考3) ●早稲田大学高等学院図書室利用案内1989





- 仁上幸治「文献調査法の専門分野別最先端情報の共有へ向けてー研究室内知識伝承者を養成するインストラクター講習会の試みー」『ふみくら』77, 2008.12, pp.4-5.
- http://www.wul.waseda.ac.jp/Libraries/fumi/f_index08.html

136

3) ライティング支援に踏み込む

- レポート・論文作成は一連の作業
- 情報探索・整理の次は表現
- 大学の教育研究への直接貢献
- 専任・専門・正規の3条件の確保へ

137

事例

- 筑波大学附属図書館 ライティング 支援連続セミナー

http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/writing_seminar/chishikitokotoba.html

138

[illegible]

- 早大:ライティング・センター所沢分室、図書館に開室!

□ http://www.wul.waseda.ac.jp/news/news_detail.html?news_no=440

The screenshot shows a web browser displaying a fashion designer's portfolio. The page has a header with navigation links in Japanese: "ファッションデザイナーのホームページ", "このサイトについて", and "ファッションデザイナーの紹介". Below the header is a large banner area with the text "FASHION DESIGNER Fashion Writing Center" and a red button labeled "お問い合わせ". The main content area features five full-body photographs of models wearing various styles of clothing, arranged horizontally. At the bottom, there is a sidebar with a search bar and a list of categories or items, each with a date-like label.

【2015 春学期版】

場所：所沢図書館「グループ学習コーナー」

ライティング・センダー

所沢キャンパス分室へようこそ!

★早稲田大学所沢キャンパス 図書館 (グループ学習コーナー)

★毎週**金曜日** (春学期中) 1セッション 45分

13:00-13:45/14:45-14:30/15:30-16:15/16:30-17:15

早稲田大学ライティング・センダー所沢キャンパス分室では、専修生、大学院生の日本語論文と英作文の指導を行っています。ライティングの専門的な指導を受けた大学院生と一緒にしながら論文を構成することができます。ぜひ、一度いらしてみたい! 教員も利用できます。

対象

人間科学部・スポーツ健康学部・
人間科学研究所・スポーツ科学
研究科の学生および「教員」

利用の注意

・一人何回でも利用できます
・ドの印刷物の貸借も受け付け

- 国際基督教大学図書館ライティングサポートデスク

□ <http://www-lib.icu.ac.jp/WSD/about/>



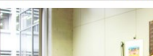
IBS
INTERNET BUSINESS SCHOOL

ENGLISH JAPANESE

TEL: 03-5533-3366 E-mail: enquiries@ibs.ac.jp

WSDについて様々なコメント・チャーター要なくあること アクセス お問い合わせ

- はじめての方へ
- サポート・文書
- セッション紹介
- チャーター説明
- 時間割
- お申し込み



ICU 国際基督教大学

ICU 国際基督教大学

ICU 国際基督教大学

ライティングサポートテキストはICU卒業生のすべてのアカデミックライティングを教える無料レシート形式のドリル・サマリーを掲載しています。このページではライティングサポートテキストの概要と受講者であるアカデミックライティングに役立ちます。

IBS Website

ライティングサポートテキストでは卒業生がチャーターとなり、文書作成

- 東北大学附属図書館
 - <http://www.library.tohoku.ac.jp/>
 - 大学生のレポート作成入門 情報探索から執筆まで
 - <http://www.library.tohoku.ac.jp/literacy/index.html>
 - 『東北大学生のための情報探索の基礎知識』
 - http://www.library.tohoku.ac.jp/literacy/ki_sochishiki.html

[illegible]

参考

- ■ 帝京大学MELIC講座「レポート・論文作成「超」実用講座」
- 帝京大学メディアライブラリーセンター(MELIC) 2階 情報学習室
- 講師: 仁上幸治(総合教育センター准教授)

147

[illegible][illegible]

◎2012年度

- ・2012.07.12-第1回「即効入門編:ただの感想文じゃダメだったのか!?!の巻」
- ・2012.10.25-第2回「執筆準備編:いきなり書き始めちゃダメだったのか!?!の巻」
- ・2012.11.29-第3回「読解:下ごしらえ編:イイトこ取りの丸写しじゃダメだったのか!?!の巻」
- ・2012.12.06-第4回「執筆:仕上げ編:イッキ書き速攻提出じゃダメだったのか!?!の巻」

150

- ★配布資料,スライド,アンケート結果など資料一式公開中!
- ★ビデオ記録ウェブ公開開始! (学内限定)[2012年12月]
 - <https://apps.v.main.teikyo-u.ac.jp/toshou/lecture/report-koza.html>

151

4) リザーブ図書の徹底的に充実させる

- 指定図書という誤解を解く
- アメリカ型授業モデル
- 予習・討論・レポート・成績
- 全受講者の確実な読了を保障
- 教科書・必読文献・推薦文献
- 蔵書・コースバック・ハンドアウト

152

【6】本丸に迫る—リザーブ図書制度の本
格運用に向けて—

- リザーブ図書制度
- 図書館のミッションの中核である教育支援サービス
- 図書館利用率100%を実現する方法手段
- 学生授業直結型キラーコンテンツ

「指定図書」という誤解

- 大学教育支援サービスの必須基幹システム
- 受講生数と読了締切日に合わせた最適冊数と貸出期限
- 教員・事務職員と図書館員の本来的協働

- 早稲田大学国際教育センターのリザーブ図書システム
- 別紙資料
- ・仁上幸治「アメリカの大学図書館よりずっとアメリカ的!?—Much more American than American university libraries!?!—」『早稲田大学国際教育センターニューズレター』第3号, 2000.7.10, pp.6-9.

<https://docs.google.com/file/d/0BziFUntj382MGNiNDczYTtOWUxNy00YTU0LTlhYTQhZQzQzMjlyOGVmMGMx/edit?ddrp=1&hl=ja#>

156

リザーブ図書制度

- 当室の最大の特徴
- アメリカンスタイルの徹底したリザーブ制度
- シラバスでリザーブ指定されている文献すべて
- 学期開始時点
- 予習復習ニーズの完璧サポート
- 授業中の発言・発表・テスト

配架

- リザーブコーナー(カウンター内)
- 教員別
- 科目別
- タイトル順
- ★学期末に保存書庫に戻す

適正数の複本をキッチリ揃える

- 受講生数
- 授業での必要度
- 最大50冊まで

教員側の意識

- 学生満足度
- 権利と義務
- 成績評価は訴訟原因
- リザーブ図書は細心の注意対象

- ある参与(レジデントディレクター)の評価
- 「アメリカの大学図書館よりはるかにアメリカ的」

現実的業務

- シラバス依頼文書にリザーブ図書制度の運用方法明記
- 学期開始前に相談・確認のやりとり
- 教科書・複本の発注(主にAmazon)
- コースバックの作成(生協書籍部)
- 入手困難文献への対応
- 授業開始時の最終確認
- 授業開始後の受講生数に応じた臨機応変対応
- 教員による利用状況チェック

教員の意識を変える

- 教育効果
- 便利さ
- 図書館利用教育の教育的意義

163

まとめ

大学図書館のキーコンセプト

- 教育
 - 授業をパーフェクトサポート!!
 - 自学自習をやさしくサポート(^^)
- 研究
 - パーフェクトサポートは無理(^^;
 - 文献コピー取り寄せコンビニ!!

165

キーワード

- 全員一網打尽
- 上流を攻める

本丸攻めのイメージ
伝わりましたか？

167

【7】職業生活の分岐点—働き甲斐を求めて—

168

本・社会・政治・社会学



原発危機と「東大話法」—
単行本 - 2012/1/7
安富 歩 (著)
★★★★☆ 55件のカスタマーレビュー
すべてのフォーマットおよびエディションを見る
単行本 ¥1,728 プライム
¥484より24 中古品の出品
¥1,728より1 新品
¥2,250より1 コレクター商品の出品

169



170

ドラッカーと論語-安富-歩

□<http://www.amazon.co.jp/ドラッカーと論語-安富-歩/dp/4492045384>

171

- 安富歩先生、新刊を語る
- ドラッカーを知るには、論語を読み
- 話題の著者 東洋経済オンライン
2014年07月07日
- <http://toyokeizai.net/articles/-/41786>
- 安富 歩
- 東京大学 東洋文化研究所教授

172

- 本書をどんな方に読んでいただきたいですか？
- 「**仕方ない**」と思って**砂を**
噛むような思いで生きて
いる全ての方に。

173

ギクリ;;

174

最後の壁

- 図書館の組織体質
- 大学の組織体質
- 処世術・遊泳術を超える壁

175

壁

176

働き甲斐の喪失

- 各種研修受講
- 自己研鑽
- サービス改善の企画立案提案

177

今日のテーマ「働き甲斐を問う」

- 職業生活の分岐点
- 図書館員自身の内面
- 欲求不満
- 組織の「内」で定年を待つ
- 組織の「外」で私的活動の道を探る

178

働き甲斐

- [はたらき - がい]
- 働くことによって得られる
結果や喜び。働くだけの
価値。「一のある職場」
- 出典: デジタル大辞泉

□<http://dictionary.goo.ne.jp/leaf/jn2/264142/m0u/>

179

働き甲斐

- 成果
- 役立ち
- 報酬
- 成長
- つながり
- 感謝
- 喜び
- 手ごたえ
- 充実感

180

もやもや

181

もやもやの原因

- 管理者
- 上司
- 同僚
- 部下
- 自分

182

もやもやのレベル

- 組織体質
- 人間関係
- 自分自身

183

自分の問題

- 能力
- 資質
- 姿勢

184

どうする自分？

185

選択肢1

- 現図書館に関わり続ける
- 現図書館に見切りをつける

186

選択肢2

- 働き甲斐を図書館に求めるのをやめる
- 働き甲斐を学内図書館外(他部署)に求める

187

選択肢3

- 大学職員を続ける
- 大学に見切りをつける

188

選択肢4

- 他大学の図書館で働く
- 他の館種の図書館で働く
 - (公共・学校・専門・他)

189

選択肢5

- 専門性の研鑽に励む
- 図書館の「外」へ出る

190

選択肢6

- 職場は図書館
- 職場はどこでも

191

選択肢7

- 組織依存
- 自立
- 独立

192

ヒント

HOME	プロジェクト	共同研究	発表	アルバム	お問い合わせ
------	--------	------	----	------	--------

いま、日本に「風の人」が必要だ

人口減、超高齢化、「消滅地域」に直面した地域で未来を語る風の人をローカルジャーナリスト田中雅夫 × 建築大学講師佐々木直樹取材!



・プロジェクトストーリー

「地域に帰るといっても、お金持ちが暮らせるくらいじゃなきゃダメ。面白くないと帰らない」。

地方出身の佐々木にとって「地域に帰るが、帰ると暮らさねばならない」は大きな問題だ。一方、都会出身の田中にとっては「地方出身、いじり好きが二つの異なる1人歩きするのでは」「地域にのびて暮らすくないし、帰郷が嫌い」。

プロジェクトの目的は都市と地方という境目で暮らす、それを実現する人々を支援し、だが、社会の未来は、「風の人」を必要とし、実現を望んでいることに、驚かすという。



ハーベスト出版
HARVEST publishing

株式会社ハーベスト出版（代表取締役社長 田中幸雄）
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-10-10 10F

『**新刊決定**』 『**新刊続出**』 『**新刊、復刊、増刊**』 『**新刊決定**』 『**新刊決定**』 『**新刊決定**』

BOOK DATA 新刊情報

『**地城**』……
『**第1回**』……
『**第2回**』……
『**第3回**』……
『**第4回**』……
『**第5回**』……
『**第6回**』……
『**第7回**』……
『**第8回**』……
『**第9回**』……
『**第10回**』……
『**第11回**』……
『**第12回**』……
『**第13回**』……
『**第14回**』……
『**第15回**』……
『**第16回**』……
『**第17回**』……
『**第18回**』……
『**第19回**』……
『**第20回**』……
『**第21回**』……
『**第22回**』……
『**第23回**』……
『**第24回**』……
『**第25回**』……
『**第26回**』……
『**第27回**』……
『**第28回**』……
『**第29回**』……
『**第30回**』……
『**第31回**』……
『**第32回**』……
『**第33回**』……
『**第34回**』……
『**第35回**』……
『**第36回**』……
『**第37回**』……
『**第38回**』……
『**第39回**』……
『**第40回**』……
『**第41回**』……
『**第42回**』……
『**第43回**』……
『**第44回**』……
『**第45回**』……
『**第46回**』……
『**第47回**』……
『**第48回**』……
『**第49回**』……
『**第50回**』……
『**第51回**』……
『**第52回**』……
『**第53回**』……
『**第54回**』……
『**第55回**』……
『**第56回**』……
『**第57回**』……
『**第58回**』……
『**第59回**』……
『**第60回**』……
『**第61回**』……
『**第62回**』……
『**第63回**』……
『**第64回**』……
『**第65回**』……
『**第66回**』……
『**第67回**』……
『**第68回**』……
『**第69回**』……
『**第70回**』……
『**第71回**』……
『**第72回**』……
『**第73回**』……
『**第74回**』……
『**第75回**』……
『**第76回**』……
『**第77回**』……
『**第78回**』……
『**第79回**』……
『**第80回**』……
『**第81回**』……
『**第82回**』……
『**第83回**』……
『**第84回**』……
『**第85回**』……
『**第86回**』……
『**第87回**』……
『**第88回**』……
『**第89回**』……
『**第90回**』……
『**第91回**』……
『**第92回**』……
『**第93回**』……
『**第94回**』……
『**第95回**』……
『**第96回**』……
『**第97回**』……
『**第98回**』……
『**第99回**』……
『**第100回**』……
『**第101回**』……
『**第102回**』……
『**第103回**』……
『**第104回**』……
『**第105回**』……
『**第106回**』……
『**第107回**』……
『**第108回**』……
『**第109回**』……
『**第110回**』……
『**第111回**』……
『**第112回**』……
『**第113回**』……
『**第114回**』……
『**第115回**』……
『**第116回**』……
『**第117回**』……
『**第118回**』……
『**第119回**』……
『**第120回**』……
『**第121回**』……
『**第122回**』……
『**第123回**』……
『**第124回**』……
『**第125回**』……
『**第126回**』……
『**第127回**』……
『**第128回**』……
『**第129回**』……
『**第130回**』……
『**第131回**』……
『**第132回**』……
『**第133回**』……
『**第134回**』……
『**第135回**』……
『**第136回**』……
『**第137回**』……
『**第138回**』……
『**第139回**』……
『**第140回**』……
『**第141回**』……
『**第142回**』……
『**第143回**』……
『**第144回**』……
『**第145回**』……
『**第146回**』……
『**第147回**』……
『**第148回**』……
『**第149回**』……
『**第150回**』……
『**第151回**』……
『**第152回**』……
『**第153回**』……
『**第154回**』……
『**第155回**』……
『**第156回**』……
『**第157回**』……
『**第158回**』……
『**第159回**』……
『**第160回**』……
『**第161回**』……
『**第162回**』……
『**第163回**』……
『**第164回**』……
『**第165回**』……
『**第166回**』……
『**第167回**』……
『**第168回**』……
『**第169回**』……
『**第170回**』……
『**第171回**』……
『**第172回**』……
『**第173回**』……
『**第174回**』……
『**第175回**』……
『**第176回**』……
『**第177回**』……
『**第178回**』……
『**第179回**』……
『**第180回**』……
『**第181回**』……
『**第182回**』……
『**第183回**』……
『**第184回**』……
『**第185回**』……
『**第186回**』……
『**第187回**』……
『**第188回**』……
『**第189回**』……
『**第190回**』……
『**第191回**』……
『**第192回**』……
『**第193回**』……
『**第194回**』……
『**第195回**』……
『**第196回**』……
『**第197回**』……
『**第198回**』……
『**第199回**』……
『**第200回**』……
『**第201回**』……
『**第202回**』……
『**第203回**』……
『**第204回**』……
『**第205回**』……
『**第206回**』……
『**第207回**』……
『**第208回**』……
『**第209回**』……
『**第210回**』……
『**第211回**』……
『**第212回**』……
『**第213回**』……
『**第214回**』……
『**第215回**』……
『**第216回**』……
『**第217回**』……
『**第218回**』……
『**第219回**』……
『**第220回**』……
『**第221回**』……
『**第222回**』……
『**第223回**』……
『

[illegible]

- 『地域ではたらく「風の人」という新しい選択』(ハーベスト出版 – 2015/8/18
- 田中 輝美 (著), 藤代 裕之 (著), & 1 その他
- <http://www.amazon.co.jp/地域ではたらく「風の人」という新しい選択-田中-輝美/dp/4864561567>

風の人とは

- 地域に新たな視点をもたらす、都会と地方をまたいで活動し、風を運び、風を起こし、去っていく人材。
- 地域ではたらく「風の人」
- <http://www.fujisiro.net/#/kaze/c24hh>

198

- 全国的大活躍の業界有名人はもちろん
- 今、注目の「風の人」(的な人材)
- 勝手にご紹介！ (^ ^)/

199

独立系図書館員への道

200

実例1

201

- 坂口雅樹氏(元・明治大学和泉図書館事務長)
<https://www.facebook.com/masaki.s.sakaguchi1?fref=ts>
- 朱鷺のソナタ@saka5315
- 独立系図書館員(元和泉図書館事務長)
<https://twitter.com/saka5315>

202

坂口 雅樹
8月25日 21:47 · 編集済み · 公式

札幌にも独立系を名乗る司書がいました。
独立系司書教諭です。
これで独立系司書教諭は佐世保と札幌で2名、
独立系図書館員は東京で1名。
退職後のフリー図書館員ともいえます。
Independent librarian は名古屋に1名います。

いいね！ コメント シェア

Mizuho Yamamotoさん、中村 直美さん、Satomi Kojimaさん、
ね！」と言っています。

204

実例2

204

インデペンデント・ライブラリアン

- 小嶋 智美氏(元・愛知淑徳大学図書館員)
<https://www.facebook.com/satomi.kojima.750?fref=ts>
- (Satomi KOJIMA)
- 司書、ヘルスサイエンス情報専門員(上級)、
■Independent Librarian
- 1993年から2012年7月まで私立大学図書館に勤務、2012年8月からはフリーランスの立場で医学情報サービスを中心に活動を行っている。講演・執筆多数。

205

実例3

206

独立系司書教諭

- 山本みづほ氏
https://www.facebook.com/mizuho.yamamoto.161?hc_location=ufi&pnref=story
- 長崎県 佐世保市在住

207

実例4

208

- 伊達 文氏(元・書店員、大学図書館職員、現・校正者)
 - 勤務時間外に、人と人、人と知識や体験が会える場作りや、調べものを手伝うなどのフリーライブラリアン活動を行う。
- 「フリーライブラリアン」
 - 「図書館外で図書館司書のようなはたらきをする人」



主な企画

- 生活型イベント(煎茶道、おうち風水、古武道)
- 対話型イベント
- 知的要素がありつつもくすっと笑えるイベント
 - ・器による酒の飲み比べ
 - ・女優さんにあえてトリセツや辞書など無機質なものを読んでもらう朗読会
- 芸術体感系イベント
 - ・文章を書きかえたり音読の仕方を変えたりすることでどれだけ感じ方が変わるか遊ぶ会
 - ・家に隠した創作絵本を探してもらう自宅ワンダーランド
 - など。

211

風の人

212

付録

213

付録

- 付録1. 参考文献
- 付録2. 参考サイト
- 付録3. 講師紹介

214

- 継続は力
- 半年後、1年後の成果を楽しみに(^~v

講演おわり

●私立大学図書館協会阪神地区協議会研究会
■テーマ：今、あらためて大学図書館職員の働き甲斐を問う
【講演】
**大学図書館職員の栄光と苦悩
ー内面を支える秘かな愉しみー**
講師 仁上幸治
(にかみ・こうじ／図書館サービス計画研究所 代表)
■2015年9月4日(金) 13:10-14:40(90分 質疑応答込)
■梅花女子大学 山草館(F棟)601教室(大阪府茨木市)

216

質疑応答

感想・質問・意見など

217

トサケンへのお誘い

- 図書館界の知恵袋
- 館種を超える人脈ネットワーク 全国600名
- しがらみなしの自由交流
- 各地で勝手に支部活動

218

著者サイン会 懇親会

219

・仁上幸治著『図書館員のためのPR実践講座—味方づくり戦略入門—』樹村房(2014年10月30日刊行)
*3部作シリーズ順次刊行予定 [出版社新刊情報]

□<http://www.jusonbo.co.jp/cgi-local/joyfully.cgi>

ご参加ありがとうございました。
これを機会にまたコラボを。

m(__)m

221

参加者アンケート

おみやげ
直輸入「ALA」しおり
アンケート回答と引き換え(^ ^)/

222